

特集

1人1日おにぎり1個分のごみの減量にチャレンジ

みんなで取り組む ごみ減量大作戦!

みんなで
チャレンジ



市のごみ事情

年間約 **137** 億円

平成31年度のごみを処理するのに
かかった費用。

1日あたりは約3700万円。

年間約 **16** 億円

全市民が毎日、おにぎり1個分(100g)
のごみ減量を達成した場合に、
削減できる費用。

作戦 その1

環境に優しいライフスタイルを実現するために ごみになるものを減らそう!(リデュース)

マイバッグを持ち歩く

買い物に行くときは、マイバッグを持参して、レジ袋をなるべく買わないようにし、過剰な包装は断るようしましょう。ごみの量をできるだけ少なくすることは、地球温暖化の防止や燃料の使用抑制などの環境保全を考えるきっかけにもなります。



市担当者から一言

マイバッグは、折りたたんで店内に持ち込み、精算が済んでから使いましょ。マナーを守って、環境に配慮した行動をとりながら、ごみ減量のためにできることを増やしていきませんか。

マイ箸・マイボトル(カップ)を使う

使い捨ての箸などを受け取らない、使わないようにしましょう。割り箸1膳をもらわない、使わないことで、約4割のごみの減量になります。旅行などでは、マイ歯ブラシを持って行くことも大切です。

詰め替え製品を選ぶ

シャンプーや洗剤などを買うときは、詰め替え製品を選びましょう。詰め替え製品にすることで、約4割のごみの減量になります。

買い物のときの心掛け

- 買い物に行く前に、家にある食材を確認して、必要な分だけ買う
- 確認しやすいよう、普段から食材を整理整頓しておく
- お店では、使う予定を考えて、すぐ食べるものなどは、陳列棚に並んでいる手前ものから買う

家庭での心掛け

- 食品に記載された保存方法のとおり、適切に保存し、無駄なく使う
- 調理するときは、家族の予定などにも気を付けて、食べられる量の料理を作る

外食のときの心掛け

- 食べきれない量を注文する
- 量が多いと分かっているときは、小盛りメニューやハーフサイズを選び、最後までおいしく食べきる

作戦 その2

食品ロスを削減するために 「もったいない」の心を大切にしよう!

世界では、生産された食料の約3分の1が捨てられています。生産された食料は、世界中の人が十分に食べられる量にも関わらず、8億2千万人以上が飢餓に苦しんでいます。

日本では、年間約612万トンの食品ロスが排出されています。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた支援食料の1.6倍になり、その約半分は家庭から出ています。1人当たりで考えると1日約132g、毎日お茶碗1杯分のご飯を捨てているのと同じ量です。

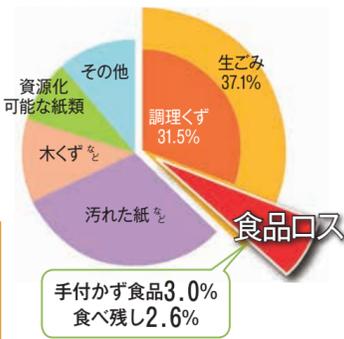
市でも、家庭から出される生ごみのうち約6分の1が食品ロスです。

持続可能な方法で食料を生産し、無駄なく消費することは、「持続可能な開発目標(SDGs)」にある、「飢餓をゼロに」や「つくる責任 つかう責任」にもつながります。

※SDGsとは、2015(平成27)年9月の「国連持続可能な開発サミット」で採択された世界共通の目標です



広島市の家庭から出た
可燃ごみの内訳(平成31年度)



作戦 その3

まだ使える物を捨てないで (リユース) 再利用しよう!

必要としている人に使ってもらおう

リユースとは、使用済みの物をそのままの形でもう一度使うことです。

サイズが合わなくなった、新製品に買い替えたなどの理由で、まだ十分使える家電製品や家具、衣類などを捨ててしまうことはありませんか。

まだ使えるものなら、ごみとして捨てる前に、人に譲るなどして、できるだけ再利用(リユース)しましょう。



作戦 その4

資源をごみにしないために きちんと分別して、リサイクルしよう!

紙ごみは、まず分別

名刺大以上の大きさの紙ごみは、資源ごみです。封筒やはがきは、個人情報や油性ペンで塗りつぶすか、切り取って出しましょう。

紙類はひもではばるか、じょうぶな袋に入れて出してください。

市が収集する家庭ごみでは「可燃ごみ」になる牛乳パックも、スーパーマーケットなどの店頭回収を利用することで、資源として生まれ変わります。しっかり洗って汚れを落として出しましょう。

資源ごみで出せる紙ごみの種類



※名刺大以上であっても、感熱紙タイプのレシート、耐水性包装容器(アイス、ヨーグルトなどの紙カップ)、圧着はがき(めくって中身を見るタイプのはがき)、食品がきれいに取れないものや油の付いた紙はリサイクルできません

レッツ!
リサイクル



小型家電はリサイクル

携帯電話やパソコンなどの小型家電には、鉄やアルミ、金、レアメタルなどの有用な金属が含まれています。限りある資源を有効に活用するため、使い終わったらごみとして捨てるのではなく、小型家電のリサイクルにご協力ください。

区役所などに回収ボックスを設置しています。その他の回収方法や回収対象品目など詳しくは、市ホームページでご確認ください。

注意! 区役所などの回収ボックスは、縦15cm×横30cmの投入口から入るものが対象です。また、事業所から出たものは対象外です。

黄色いボックス
が目印です!



市HP ■ ページ番号 1377113771

注意してください! 発火する可能性があります

リチウムイオン電池などの小型充電電池は、強い衝撃が加わったり変形したりすると、発熱、発煙、発火するなどして、大変危険です。この電池は、主にデジタルカメラやスマートフォンなどの充電式小型家電に使われています。

発火する恐れがあるごみが不適切に排出されると、ごみ集積場や収集車、焼却工場、埋立地などでの火災の原因となります。

可燃ごみには絶対に入れないでください。



発火したリチウムイオン電池

発火する恐れがあるごみの例

- ライター ● スプレー(エアゾール)缶・塗料缶
- 充電式小型家電(デジタルカメラ、加熱式たばこ、スマートフォン、電気かみそり、ゲーム機、電動式おもちゃ、電子辞書)
- 充電電池(リチウムイオン電池)

正しいごみの出し方*

- 充電式小型家電(デジタルカメラ) 充電電池を取り外してから、大きさにより「不燃ごみ」(最長の辺の長さか最大径が30cm未満)か「大型ごみ」として出すか、小型家電リサイクル(下記作戦その4参照)へ
- 外した充電電池(リチウムイオン電池) 両極をセロハンテープで止めて、「有害ごみ」で

- スプレー缶・塗料缶 中身を空にして「資源ごみ」で
 - ライター 他の不燃ごみとは別の袋に入れ、袋に「ライター」と書いて、「不燃ごみ」で
- * 家庭ごみであっても市以外の収集に出す場合や、事業ごみの場合には、分別区分や排出方法は、契約している収集運搬業者に確認を

コロナ禍での マスクなどの捨て方

新型コロナウイルスなどの感染症に感染した人や、その疑いのある人が家庭にいる場合、次のことに気を付けましょう。

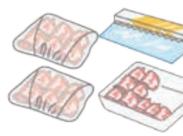
- 使用済みのマスクやティッシュなどのごみには直接触れない
- ごみ袋はしっかり封をする
- ごみを捨てた後は手を洗う

☆使用済みのマスクは、マスクの素材に関わらず、「可燃ごみ」で出してください

冷蔵庫は整理整頓



1回に使う量ごとに
分けて保存し、無駄なく消費



西部リサイクルプラザ 休館日が土曜日になります

西部リサイクルプラザ(西区商工センター七丁目7-2)は、ごみ減量・リサイクル推進の拠点施設として、資源ごみを細かく選別し、再資源化に努めています。

4月1日から、休館日を木曜日から土曜日に変更し、木曜日も見学ができるようになります。

施設見学を希望する人は、西部リサイクルプラザ管理事務所(☎501-2600)まで事前予約を。



選別作業の様子を見学できます

LINEでも 紹介しています

市公式LINEで、ごみの分別や出し方などを調べることができます。登録方法などは本紙1面を。



LINE画面